

各社からの報告

	メーカー	不適切な取扱いの有無 (「—」は不適切な取扱いが 無いことを示す。)
1	アウディジャパン株式会社	※1
2	いすゞ自動車株式会社	—
3	川崎重工業株式会社	—
4	極東開発工業株式会社	—
5	ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社	—
6	新明和工業株式会社	—
7	スズキ株式会社	有(※2)
8	ダイハツ工業株式会社	—
9	トヨタ自動車株式会社	—
10	ビー・エム・ダブリュ株式会社	—
11	日野自動車株式会社	—
12	フォルクスワーゲングループジャパン株式会社	※1
13	プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社	—
14	FCAジャパン株式会社	—
15	ポルシェジャパン株式会社	—
16	ボルボ・カー・ジャパン株式会社	※1
17	本田技研工業株式会社	—
18	マツダ株式会社	有(※2)
19	三菱自動車工業株式会社	—
20	三菱ふそうトラック・バス株式会社	—
21	メルセデス・ベンツ日本株式会社	—
22	ヤマハ発動機株式会社	有(※2)
23	ルノー・ジャポン株式会社	—

※1: 海外生産メーカーとの関係から報告が遅れている。

※2: 運転が測定モードに合わせられず失敗(速度範囲から逸脱してもよい限度を超過)した測定(トレースエラー)を有効とした事案があった。

(注) 本別紙は、各社の報告内容を記しているものであり、国土交通省による精査結果を記したものではない。